



ありのままの人間をかけがえのない存在として 尊重し命を守る、在宅医療を充実する



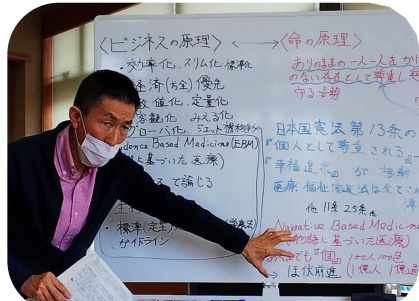
4/16 懇談する左から遠藤県議、たいら、山田所長

寺泊診療所の山田先生のお話から

4月16日、遠藤れい子県議は、たいらあやこ、笠井則雄長岡市議とともに、長岡市国保寺泊診療所を訪問し、山田聡所長と懇談しました。

日常診療を工夫

山田所長は「日本は、2040年多死時代を迎える。病院の見取りは限界になる。在宅での看取りをふやさなければ対応困難になる。現在の県や市の包括医療方針にはその視点



板書してお話される山田所長

「命お助け袋」を所持してもらい、いざというときに救急搬送先でも素早い対応ができる工夫丁寧な問診、患者の生きる意欲を高めるため

の努力など、お一人お一人の患者を大切にされた。先生や、皆さんの声
事前の質問通告に「データを持ち合わせていないので答弁は控えさせていただきます」の
東電の不誠実な答弁と姿勢は許せません。

◆前号で遠藤れい子議員の質問を掲載しました。今号は、連合委員会全体の模様を報告します。
謝罪はポーズか？
4月14日、県議会連

合委員会で参考人の東電小早川社長は「福島第一原発の反省に立ち今事案発生の根本原因に真摯に」と、準備した答弁書を読み上げる。
事前質問にも「答ええない」不誠実。
A議員「事実関係を確認する。進入装置損傷に対する代替措置が3年以上前からとられているとのことだが、最初の代替措置の日時はいつですか」と質問。

東電福島第1原発事故で毎日増え続ける**汚染水の海洋放出はするな！**
4月12日、日本共産党の高橋千鶴子衆院議員は、決算行政監視委員会で「汚染水の海洋放

その後、官邸前での原発をなくす緊急抗議行動で発言。岩淵友参院議員も参加しました。



4/12官邸前で岩淵議員と高橋議員(右)



長岡では、4/15長岡大橋西詰スタンディングに遠藤れい子県議参加